

2021年度JICA北陸青年研修案件概要等

【用語等補足】

※本表中で記載される「ボランティア」とは、JICAが派遣する海外協力隊を指します。

※カウンターパートとは、JICAが派遣する日本人専門家や海外協力隊と一緒に活動を行う現地のパートナーのことです

- 【案件名】 地域保健医療実施管理(202006794)
- 【案件目標】 日本における地域保健医療実施管理に関する基礎的な技術や制度に関する知識の習得及び自国の課題解決に向けた意識の向上
- 【案件概要】
 ・日本における地域保健医療体制や医療機関の取組を中心とした基本的な知識を学ぶ
 ・現場視察、関係者との意見交換等を通じ当該分野に係る日本の経験又は社会の背景等を学ぶ
- 【科目例】 地域保健行政、医療機関体制、医療機関における取組と現状の課題
- 【対象者】 地域保健医療に取り組む医療従事者（医師、看護師又は保健士）
 関連するJICA事業のカウンターパート

【受入れ対象国の支援ニーズ等】

1. 当該案件分野に関する現状の問題および課題等 2. ターゲットとする対象者等 3. 想定される成果等
 4. 関連するスキーム（協力プログラム、ボランティア等）

国	人数	コメント
カメルーン	1	1. カメルーンは成長と雇用の為の戦略文書において、生活の質の向上を戦略目標の一つに掲げ、保健システムの強化を目指すとともに、地域保健の改善への取組みに言及している。 2.保健省関係者及び地域の地域保健に従事する医療関係者。 3.日本における地域保健の制度や実態を学び、カメルーンの世界保健分野の体制改革に寄与する。 4.我が国は補正予算を通じ、UNICEFによる地方保健医療改善事業を支援している。
コートジボワール	1	Related to programme for promotion of UHC for Women, Children ad the indigents
サントメ・プリンシ	1	1. 同国は保健・教育等の基礎サービスへのアクセス強化を重点分野に掲げるものの、同国の逼迫した政府予算等を理由に、地域保健への予算が限定的な状況である。☒ 2. 地方自治体保健担当職員、医療従事者☒ 3. 地域保健医療体制の改善への貢献が期待される。☒ 4. なし
ギニア	1	・地方が発生源となったエボラへの早期対応、首都から拡大するコロナ対策を行う上でも、地域保健の強化は課題である。☒ ・地域保健医療に取り組む医療従事者（医師、看護師又は保健師等）を対象とする。☒ ・地域保健医療従事者のモチベーションアップ、能力向上が期待される。☒ ・保健システム強化プログラム
ニジェール	1	日本における地域保健医療体制や医療機関の取組を中心とした基本的な知識を学び、現場視察、関係者との意見交換等を通じ当該分野に係る日本の経験又は社会の背景等を学ぶもので、日本における地域保健医療実施管理に関する基礎的な技術や制度に関する知識の習得及び自国の課題解決に向けた意識の向上を目標とする。参加対象者は、地域保健医療に取り組む医療従事者（医師、看護師又は保健士）であり、研修後のフォローが可能なニアメ市内の者が望ましい。
セネガル	1	セネガル政府は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を政策目標に掲げているが、UHC達成のためには質の確保された保健サービスへの、①物理的アクセス（地方部・僻地での医療サービス提供など）、②経済的アクセス（貧困層向け医療保障制度整備など）、③社会的アクセス（保健サービス利用促進など）が課題となっている。本研修は、①物理的アクセスや③社会的アクセスの改善に寄与する人材育成に貢献するとともに、現在実施中の「保健システムマネジメント強化プロジェクトフェーズ2」との相乗効果も期待できることから、参加意義は高い。本研修は「ユニバーサルヘルスカバレッジ支援プログラム」に位置付けられる。
チャド	1	1.チャドは国家開発計画(2017-2021)において、生活の質の向上を戦略目標の一つに掲げ、保健システムの強化を目指している。☒ 2.保健省関係者及び地域の保健医療に従事する医療関係者☒ 3.日本における地域保健医療の制度や実態を学び、チャドの世界保健医療分野の体制改革に寄与する。☒ 4.我が国はUNFPAを通じ、チャドにおける母子保健に係る事業を支援している。

ブルキナファソ	1	ブルキナファソでは2009年以降、保健セクター（人材・資源）の地方分権化が進められている。しかし、地方自治体の資金不足、地方分権化に係る法制度の未整備、地域医療人材の能力不足等がボトルネックとして指摘されている。本研修では、地域保健医療に取り組む医療従事者が日本の地域医療に係る基本的な知識を学ぶこと、現場視察、関係者との意見交換等を通じ当該分野に係る日本の経験又は社会の背景等を学ぶことが期待される。協力プログラム「その他（無償資金協力「保健社会向上センター建設計画」を含む）」に位置づけられる。
マダガスカル	1	Since more than 15 years the Ministry of Public Health of Madagascar is promoting 5S/Kaizen in hospitals and they created the certification system of 5S last year. To further promote this movement, this course could be a good opportunity to the participants.
モーリタニア	1	モーリタニアの保健・医療体制は脆弱である。乳幼児死亡率をはじめとする主要保健指標がサブサハラアフリカ諸国の平均を下回っており、特に都市と地方部における格差などが問題となっている。本コースは保健ポストの運営にかかわる人材や保健省若手人材などの参加が想定され、これら対象者に日本の知見共有等を行うものであり、上記課題の改善につながりうるものと考えられる。また、我が国の協力方針中の重点分野「都市開発・貧困削減・発展の促進」におけるの草の根無償資金協力事業による保健ポスト整備、無償資金協力事業による公衆衛生学校拡張等の協力内容とも合致する。
ハイチ	1	新型コロナウイルス感染症、ジカ熱、デング熱等、ハイチ、殊に地方部における地域保健医療体制の整備は公衆衛生上の重点課題となっている。ハイチ国別開発協力方針では開発課題:基礎社会サービスへのアクセス向上、保健・衛生改善プログラムとして支援を行っている。参加対象省は保健省看護局、または県保健局からの参加を想定しており、派遣予定の保健技術アドバイザーと連携した研修効果の発現が期待できる。
計	11	